

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-04-02	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	屋外広告物事務費		部課名	防災都市づくり部施設管理課	課長名	大木	
			担当者名	山崎	内線	2714	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-03-01	道路占用事務費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	24年度	根拠法令等	屋外広告物法、東京都屋外広告物条例、同施行規則、荒川区手数料条例		
終期設定	有	無	年度				
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とるおい豊かな生活環境づくり				
目的	屋外広告物の表示、場所、方法などを規制することにより、良好な景観の形成、美観の維持、通行者に対する危険を防止する。						
対象者等	屋外広告物掲出者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物事務 「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づき区が処理する事務である。 ・広告塔や広告板、車体利用広告などの広告物については、区条例で定められた手数料を徴収する。 ・違反広告物除却協力員制度 区民ボランティアが違反広告物を撤去する。 ・日々の道路パトロールにより違反広告物への警告札の貼付及び簡易除却できるものの除却を行っている。 						
経過	平成11年12月 平成12年3月 平成16年4月 平成17年12月 平成20年12月	特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例制定(施行平成12年4月) 荒川区手数料条例制定 屋外広告物許可手数料改正 違反広告物除却協力員制度実施要綱制定 東京都屋外広告物条例施行規則の一部改正 (看板等に貼付する許可済シール(標識票))					
必要性	良好な景観の形成、美観の維持、通行者に対する危険防止を図り、住み良い街づくりを推進するために必要である。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) ・違反広告物除却協力員は無償ボランティアで、はり紙だけを除却する。 (協力員証、腕章等交付)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	173	471	77	217	223	166	160	
決算額(26年度は見込み)	181	300	72	137	101	93	160	
人件費等	11,887	11,567	12,627	12,284	12,054	9,872		
減価償却費			6,972	7,464	7,745	7,098		
【事務分担量】(%)	240	240	240	240	240	210		
合計(+ +)	12,068	11,867	19,671	19,885	19,900	17,063	160	
特定財源	国							
	都							
その他	手数料	7,373	5,652	7,023	5,956	7,023	5,956	
一般財源		4,695	6,215	12,648	13,929	12,877	11,107	
							-6,235	
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	屋外広告物許可件数	217	188	214	217	237	249	234
	違反広告物除却協力員 数委嘱数(累計)	30(77)	1(78)	13(91)	8(99)	1(92)	34(97)	1(85)
	違反広告物除却件数(協力員除却)	5907	7224	9638	8961	4416	4602	6500

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
食糧費	協力員打合せ会	3	食糧費	協力員打合せ会	0	食糧費	協力員打合せ会	15
一般需用費	協力員用消耗品	52	一般需用費	協力員用消耗品	44	一般需用費	協力員用消耗品	85
	印刷製本	0	役務費	協力員保険料	49	役務費	協力員保険料	60
手数料	保険料	46						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
	協力員数	99	92	97	85	95	違反広告物除却協力員数
標	違反広告物除却件数(はり紙)	13181	8378	8705	11000	-	違反広告物除却協力員による除却数を含む

問題点・課題 (指標分析)	違反広告物（特に、はり紙・のぼり旗の増加）をどのようにして撤去していくか。除却協力員制度の拡大を図る。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
違反広告物について、区民への啓発を図る。また道路監察車パトロールにより、違反広告物の撤去活動を継続して実施していく。	違反広告物について、区民への啓発を図る。また道路監察車パトロールにより、違反広告物の撤去活動を継続して実施していく。
違反広告物除却協力員のネットワークの拡大を図る。	違反広告物除却協力員のネットワークの拡大を図る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	屋外広告物を規制することは、良好な景観の形成等に貢献する事業である。

議 会 要 旨 状	
-----------------------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-25	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	みどりの条例関係事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原		
		担当者名	諸角	内線	2752		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）		01-01-01	みどりの条例関係費				
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	55年度	根拠	荒川区みどりの保護育成条例及び同条例施行規則、荒川区花と緑の基本計画		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	荒川区花と緑の基本計画に基づき、区民の緑化意識を啓発し、みどりへの関心を高め、花と緑の街づくりを推進するとともに既存のみどりを保存する。						
対象者等	区民						
内容	<p>保護指定樹木等助成：区内に残る貴重なみどりを保全するため、一定の基準を満たす樹木、樹林生垣について保護の指定を行い、維持管理に係る経費の一部を助成する。 原則、維持管理に要した費用の1/2 限度額150,000円/一所有者</p> <p>生垣造成助成：生垣造成工事費及び生垣造成に係る塀等撤去費の1/2を助成する。</p> <p>緑化指導：一定規模以上の開発行為等に対して緑化を義務付ける。</p> <p>緑のカーテンサポート制度：環境課主催の講習会参加者に緑のカーテンづくりに必要な資材を提供し区民の緑のカーテンづくりをサポートすることで緑の普及につなげる。</p> <p>あらかわ緑花大賞表彰制度：緑花活動にかかわる人の関心を高め、活動を一層活発にしていいため、区民や事業者がつくり育てている花壇などの花や緑を対象として表彰する。平成21年度から実施</p> <p>あらかわ園芸名人認定制度：高いガーデニング知識を有する「あらかわ園芸名人」を養成し、地域の緑化アドバイザー及び緑化ボランティアのリーダーとして活躍してもらう。平成22年度から実施</p>						
経過	<p>【保護指定樹木等助成】平成10年度までは、所有者の申請に基づき区が剪定等を実施してきたが、平成11年度より所有者が維持管理に要した費用の一部を助成する方式に変更。</p> <p>【生垣造成助成】平成10年度から18年度までの間は、防災生活圏促進事業の一つとして東京都の補助金を活用していた。</p> <p>【あらかわ緑花大賞】平成21年度 制度新設 平成25年度 表彰部門を改編（緑のカーテン部門を新設）</p> <p>【あらかわ園芸名人】平成22年度 事業創設 あらかわ園芸名人養成講座（初級編）開催 修了22名 平成23年度 初級編講座 修了23名 上級編予備講座を開催 平成24年度 初級編講座 修了21名 上級編講座を開催 園芸名人認定21名 平成25年度 初級編講座 修了23名 上級編講座を開催 園芸名人認定17名</p>						
必要性	「花と緑を通して幸せを実感できるまち」を実現するために、既存のみどりを保存するとともに、緑被率の向上や公園面積の拡大を進める他、区民一人ひとりが花や緑にかかわる活動に参加できる機会を提供することが重要となる。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	14,823	5,738	5,863	7,897	6,572	6,855	6,471	
決算額（26年度は見込み）	13,982	4,916	4,524	6,887	5,372	3,537	6,471	
人件費等	16,517	12,053	17,806	13,249	10,184	13,886		
減価償却費			6,130	5,287	4,195	6,084		
【事務分担量】（%）	195	155	211	170	130	180		
合計（+ +）	30,499	16,969	28,460	25,423	19,751	23,507	6,471	
特定財源								
国								
都	0	0	0	0	0			
その他								
一般財源	30,499	16,969	28,460	25,423	19,751	23,507	6,471	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
緑のカーテンサポート配付数（セット）	37	38	43	45	28	148		
あらかわ園芸名人養成講座受講者数（人）			23	23	23	21		
あらかわ園芸名人認定数（人）					21	17		

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	あらかわ園芸名人養成講座	265	負担金補助等	生理、保護樹木助成・シダレザクラ祭り補助	2,095	負担金補助等	生理、保護樹木助成・シダレザクラ祭り補助	4,763
食糧費	荒川緑花大賞表彰式贈	30	需用費	事業消耗品・緑花大賞贈	1,088	需用費	事業消耗品・緑花大賞贈	1,194
一般需用費	樹名板・モニター用品等	1,441	報償費	あらかわ園芸名人養成講座	268	報償費	あらかわ園芸名人養成講座	380
役務費	コンクール筆耕・樹木保険	72	役務費	筆耕・樹木保険	59	役務費	筆耕・樹木保険	69
使用料及び賃借料	緑花大賞会場使用料	26	使用料等	事業会場使用料	27	使用料等	事業会場使用料	65
負担金補助及び交付金	生垣・保護樹木助成・シダレ祭り補助	3,539						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	保護指定樹木指定本数（本）	0	1	0	2	2	累計 H26.4.1現在 212 本
	生垣造成延長（m）	65	52	6	46	46	累計 H26.4.1現在 2596 m
	緑化指導実績（㎡）	9640	2016	3626	5094	5094	各年度緑化計画面積

（問題点・課題） （指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年3月に策定した「荒川区花と緑の基本計画」に掲げた個別施策のうち、公園や緑地の整備などハード系の施策の推進は、財政的な負担が大きくなることから厳しい状況となっている。 このため、緑の普及と区民の緑化意識の向上を促す役割を担っている本事業は、大変重要であり、効果的な執行を行っていく必要がある。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
<ul style="list-style-type: none"> 第2次花と緑の推進計画（平成24年度～26年度）に掲げた事業を計画的に実施していく。 第2次花と緑の推進計画について進捗状況の評価を行うとともに、第3次計画を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 第3次花と緑の推進計画（平成27年度～29年度）に掲げた事業を計画的に実施していく。
<ul style="list-style-type: none"> あらかわ園芸名人との協働による緑の普及について検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 民有地の貴重な緑である「保護樹木」について、適正な維持がなされているか点検を行う。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	既存の緑の保護や緑化の啓発など、区の緑化推進に貢献する事業である。

（重要質問）	H21一定 都電軌道敷の芝生化推進（一般質問）
--------	-------------------------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-26	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	都電沿線バラ植栽事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	須崎	内線	2752	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-01	都電沿線バラ植栽事業費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	62年度	根拠	荒川区みどりの保護育成条例及び同条例施行規則、荒川区花と緑の基本計画ほか		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	荒川区のシンボルである都電荒川線の沿線をバラで包み込み、荒川区の中央を走るみどりの軸をつくることにより、美しい景観の創出や区民の心にうるおいと安らぎを提供する。また、区民に都電沿線のバラへの愛着を深めてもらい、区民とともに区の観光資源として育てていく。						
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人						
内容	整備	東京都交通局と協定を締結し、区内を走る都電の延長約4.8kmのうち約4.1km、両側にすると6.7kmの区間にバラを植栽。					
	維持管理	剪定、摘実、摘雷、消毒、施肥、灌水、マルチング等の維持管理作業を、直営を主体として行っている。除草、清掃及び一部の摘実は委託している。					
	区民の手による管理	「荒川バラの会」が区との協定に基づき、三ノ輪橋、荒川二丁目電停周辺及び荒川遊園等でバラの維持管理を行っている。区は、講習会の開催、道具類の支給・貸与、ボランティア保険の加入など、会の活動を支援している。					
経過	昭和61年2月 東京都交通局と「都電荒川線及びその沿線の緑化に関する基本協定」を締結 昭和60年度～平成3年度 植栽工事の実施 平成14年度 区の観光資源として充実させるため再整備に着手。三ノ輪橋電停周辺と荒川遊園を整備 平成15年度 区民の手による管理を導入し、「荒川バラの会」発足。荒川二丁目電停付近を整備 平成17年度 区の都電沿線のバラによる観光まちづくりが「花の観光地づくり大賞」を受賞 平成21年度 都電沿線のバラをPRするイベントとして「第1回あらかわバラの市」を開催 平成22年度 荒川二丁目バラ花壇をバラの会の管理場所として拡大 「荒川バラの市」を「都電沿線バラ植栽事業」から独立させる 荒川バラの会が（財）都市緑化基金が実施した「緑の都市賞」の緑の地域づくり部門において、都市緑化基金会長賞を受賞 平成25年度 荒川バラの会が「みどりの愛護功労者表彰国土交通大臣表彰」を受賞						
必要性	都電沿線のバラは、区の中央部のみどりの軸として、そのネットワークを形成する上で重要である。また、唯一残る都電とその周辺に咲き誇るバラの人気は高まっており、区の重要な観光資源として積極的に活用していくために、質の高いバラの維持管理を継続する必要がある。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 都電沿線バラ管理委託 上園緑地(株)東京支店 委託金額 ¥4,671,157- （決算額）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	14,823	16,145	8,972	9,363	12,816	13,903	13,989	
決算額（26年度は見込み）	14,372	10,270	8,892	9,055	11,146	12,728	13,989	
人件費等	14,624	12,176	16,743	14,427	14,671	11,611		
減価償却費			7,059	7,091	7,357	6,152		
【事務分担当】（%）	194	202	90	228	228	182		
合計（+ +）	28,996	22,446	32,694	30,573	33,174	30,491	13,989	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	28,996	22,446	32,694	30,573	33,174	30,491	13,989	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
植栽数（株）	200	200	45	110	0	50		
バラの会会員数	43名	48名	50名	57名	62名	64名		

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	バラ園芸講習会謝礼	130	委託料	除草・清掃・維持管理委託	9,957	委託料	除草・清掃・維持管理委託	10,998
食糧費	食糧費	0	需用費	維持管理用消耗品	1,593	需用費	維持管理用消耗品	1,630
一般需用費	維持管理用消耗品	1,897	工事請負費	都電通りバラ植栽工事	1,038	工事請負費	都電通りバラ植栽工事	1,182
役務費	保険料	8	報償費	バラ園芸講習会謝礼	130	報償費	バラ園芸講習会謝礼	156
委託料	除草・清掃・維持管理委託	7,907	役務費	保険料	9	役務費	保険料	23
使用料及び賃借料		0						
工事請負費	都電通りバラ植栽工事	1,205						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
	植栽数(株)	13,360	13,360	13,410	13,460	-	数字は概数
標	「荒川バラの会」会員数(名)	57	62	64	70	-	

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> バラを美しく咲かせるために、剪定、咲きながら摘み、施肥、灌水等、適切な維持管理を継続的に実施していく必要がある。また、都電沿線のバラを区民とともに育てていくために、区民のバラに対する関心を高めるとともに担い手である「荒川バラの会」の活動を充実させていく必要がある。 都電沿線を区の「みどりの軸」として、また「景観軸」としてさらに発展させ、緑化推進のシンボルとしてPRするとともに、区の観光資源や商店街の振興策としても活用を図っていく。
	他区の実況 （実施 1 区 未実施 21 区 不明 0 区） 豊島区 南大塚都電沿線協議会が平成20年から都電沿線でのバラづくりをスタート

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
<ul style="list-style-type: none"> バラの適切な維持管理作業を継続的に実施する。 バラの会向けの講習会を充実させるとともに、新入会員の積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> バラの適切な維持管理作業を継続的に実施する。 バラの会向けの講習会を充実させるとともに、新入会員の積極的な参加を促す。
<ul style="list-style-type: none"> 沿線の事業者等に都電沿線のバラを維持管理してもらうなど、都電のバラ街道を区民とともに作り上げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者や商店街等によるバラの維持管理事例を少しずつ増やしていく。
<ul style="list-style-type: none"> ブログの継続的な更新や動画投稿サイトを活用し、都電沿線のバラ植栽事業のPRを一層充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な広報を行っていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	区民の満足度も高く、観光の視点からも重要な事業である。

議会議決 (要旨)	H23一定 「バラ」を新たな区の花に制定（一般質問）
--------------	----------------------------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-27	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	あらかわバラの市		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	高瀬	内線	2752	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-02	あらかわバラの市開催事業費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	21年度	根拠	荒川区みどりの保護育成条例		
終期設定	有	無	年度	法令等	荒川区花と緑の基本計画		
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	都電沿線のバラが咲き誇る5月、町屋駅前においてバラを即売するイベントを区内事業者等と連携して開催し、花と緑によるまちづくりの足がかりとするとともに、商業振興及び区のイメージアップにつながる新たな観光資源として発展させる。						
対象者等	区民及びバラの市を訪れる人						
内容	<p>開催時期 5月中旬 会場 ・町屋駅周辺 開催概要 ・バラの花鉢の販売 ・バラの育て方講習会実施 ・サクソフォンカルテットの演奏会 ・オープンカフェ（ローズカフェ）の営業 設置ブース ・バラの育て方相談コーナー ・都電やバラにちなんだ商品販売ブース ・都電沿線のバラPRコーナー設置</p>						
経過	<p>平成20年度 事業の効果や必要性について検討し、バラの市の開催を決定 平成21年度 5月23日（土）第1回あらかわバラの市を開催 ・2,000鉢の鉢バラが、昼すぎに完売 平成22年度 5月15日（土）第2回あらかわバラの市を開催 ・会場を藍染川通りに拡大、バラの販売数を5,000鉢に増量 ・「荒川バラの市」を「都電沿線バラ植栽事業」から独立 平成24年度 5月19日（土）第4回あらかわバラの市を開催 ・商店会等があらかわバラの市盛り上げ隊として参加 平成26年度 5月17日（土）第6回あらかわバラの市を開催 ・バラの販売数を6,000鉢に増量</p>						
必要性	花や緑とふれあう機会の拡大につながるイベントとであり、区内の緑化を推進する上で重要である。区のイメージアップを図るために、大いに期待できる事業である。						
実施方法	<p>（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） あらかわバラの市会場設営業務委託 三和舞台株式会社 委託金額 ¥1,659,000- " 会場警備委託 三和舞台株式会社 委託金額 ¥276,255-</p>						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	-	5,214	6,140	6,960	5,867	6,341	6,703	
決算額（26年度は見込み）	-	4,752	5,969	6,339	5,621	5,906	6,703	
人件費等	-	4,072	7,848	8,742	8,261	6,943		
減価償却費			2,615	3,421	3,227	3,042		
【事務分担量】（%）	-	50	90	110	100	90		
合計（+ +）	0	8,824	16,432	18,502	17,109	15,891	6,703	
特定財源の推移	国							
	都							
	その他	雑入（販売収入）		0	1,685	1,900	1,809	2,800
一般財源	0	8,824	16,432	16,817	15,209	14,082	3,903	
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	鉢バラの販売数量（鉢）		2000	5000	5000	5000	5000	6000
	来場者数（推計・人）		3000	5000	5000	5000	5000	6000

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	講師謝礼、出演料	150	需用費	販売用バラ、消耗品・ポスター印刷	3,983	需用費	販売用バラ、消耗品・ポスター印刷	4,433
食糧費	バラ市用飲物等	77	委託料	会場設営委託等	1,725	委託料	会場設営委託等	2,028
一般需用費	バラ市用消耗品	3,005	報償費	講師謝礼、出演料	150	報償費	講師謝礼、出演料	186
	印刷製本	560	役務費	イベント保険	40	役務費	イベント保険	47
委託料	会場設営委託等	1,820	使用料等	会議室使用料	8	使用料等	会議室使用料	9
使用料及び賃借料	会議室使用料	8						
役務費	広告料等	0						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	鉢バラの販売数(鉢)	5000	5000	5000	5000	6000	販売数累計：26,000鉢

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・「あらかわバラの市」をほうずき市やアサガオ市のようなイベントに成長させ、主目的である緑化推進のシンボル事業としてPRしていくことに加え、観光振興や商店街振興策としても活用していく必要がある。 ・今後、地域ぐるみのイベントとして一層充実させるとともに、事業の継続性を高めるための取り組みを検討する必要がある。
	他区の実況 （実施 1 区 未実施 21 区 不明 0 区） ・豊島区 南大塚都電沿線協議会が「大塚ばらまつり」を開催している。（区後援・年2回）

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
<ul style="list-style-type: none"> ・区外からの来場者が区内の名所や商店街を巡りたくなるような仕掛けを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者が咲き誇る都電沿線のバラを見学できるように、ツアー等の実施を検討する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	緑化のPR効果の高さに加え、観光や商店の活性化の視点からも重要な事業である。

議会議事録 （要旨）	H21二定	イベント（あらかわバラの市の拡大・充実）による地域の活性化について（一般質問）
	H23一定	「バラ」を新たな区の花に制定（一般質問）
	H24一定	「あらかわバラの市」のさらなる充実による産業振興および情報発信（一般質問）

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-28	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	区民主体の街なか花壇づくり事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	石橋	内線	2752	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-03-01	区民主体の街なか花壇づくり事業費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）			建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	11年度	根拠法令等	荒川区みどりの保護育成条例		
終期設定	有	無	年度	荒川区花と緑の基本計画			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とるおい豊かな生活環境づくり				
目的	緑の少ない荒川区に花と緑の空間を創出していくために、区民が主体となっていく花壇づくりを支援する。 花壇づくりを通じて街の環境美化と区民同士のコミュニティの醸成を目指す。						
対象者等	・公募による申込み者 ・地元町会 ・サークル等						
内容	町会やグループなどの団体が自主的に行う花壇づくりを支援し、花のまちづくりを進める。 区民が主体となって、草花の植え付けやその後の水やり・除草等の維持管理を行う。 花壇は、公共的な場所に整備したり、大型のプランター等を設置して行う。 活動団体と協定書を結び、区は、花苗の支給、道具類の支給・貸与、ボランティア保険の加入等の活動支援をする。						
経過	【平成12年度】 モデルケースとして、荒川一丁目（千住間道）の都市計画道路残地内を借り上げて、花の植え付け教室を開催し、地元が管理を開始。 【平成13年度】 第1号となる街なか花壇を設置（荒川三丁目） 【平成18年度】 荒川区街なか花壇づくり実施要綱を策定 【平成22年度】 情報交換会、ふれあいティーパーティーを開催 【平成23年度】 57の参加団体を紹介するリーフレットを作成 【平成25年度】 74の参加団体を紹介するリーフレットを作成						
必要性	緑が少ない荒川区において、花や緑に囲まれた美しい街並みを形成していくためには、区民が自分の暮らす街への愛着を深め、緑化活動に取り組むことが重要である。こうしたことから、区が花や緑とのふれあいの場を提供し、活動を支援する必要がある。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 街なか花壇づくり作業委託 六創園株式会社 委託金額 ¥9,558,792-（上限総額）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	12,555	17,262	20,102	19,138	16,464	15,560	15,137	
決算額（26年度は見込み）	10,567	12,255	11,244	11,655	12,929	11,634	15,137	
人件費等	4,659	9,447	8,825	10,664	1,503	9,637		
減価償却費			3,137	5,287	1,129	5,239		
【事務分担当】（%）	55	123	108	170	145	155		
合計（+ +）	15,226	21,702	23,206	27,606	15,561	26,510	15,137	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	15,226	21,702	23,206	27,606	15,561	26,510	15,137	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
設置	8	13	12	11	11	8		
参加団体協定締結数（解除数含む）	30	43	55	66	77	85		

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
一般需用費	花壇用草花苗等	3,660	委託料	街なか花壇づくり作業委託	8,158	委託料	街なか花壇づくり作業委託	9,801
役務費	ボランティア保険	68	需用費	花壇用草花苗等	3,238	需用費	花壇用草花苗等	4,800
委託料	街なか花壇づくり作業委託	8,659	工事請負費	花壇造成工事	173	工事請負費	花壇造成工事	350
工事請負費	花壇造成工事	542	役務費	ボランティア保険	65	役務費	ボランティア保険	186

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	街なか花壇の数（実数）	61	74	74	85	95	・全町会に1箇所以上設置
	ボランティア数（累計）	799	740	700	760	780	

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・団体数は増加しているものの、管理管理状態の悪い花壇も目立つようになってきた。 ・参加団体の増加に伴い、植替え時期、花苗の種類や色・数量などの団体からの要求が多岐にわたり、対応が難しくなっている。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） ボランティアの支援方法は、各区異なる。

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	全ボランティアを招集して情報交換会を開催し、他の団体の活動状況を確認し合う機会を与える。このことにより、花壇の質を高めていく。	団体同士の競争意識を引き出すために、花壇コンテストの開催を検討する。
	花苗や用具の購入をボランティアに行ってもらい、かかった費用を助成する仕組みについて検討する。	助成制度を一部試行する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	区民と協働して花と緑のまちづくりを進めるための重要な事業である。

議（要旨）	H21一定	道路沿いにおける街なか花壇の推進（一般質問）
	H21二定	藍染川通りへのプランターの設置（一般質問）
	H24四定	熊野前駅周辺において街なか花壇を導入した緑化を進めるべき（一般質問）

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	花壇維持管理委託	6,621	委託料	花壇維持管理委託	5,802	委託料	花壇維持管理委託	6,599

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	花壇面積（㎡）	181	202	202	202	202	

（問題点・課題 指標分析）	荒川公園は、既存の大きな樹木が多いため花壇に適した日当たりの良い開放的な空間が少ないが、剪定等によりなるべく日当たりの確保できるようにしている。しかし、花の公園にふさわしい花壇とするためには、既存の施設を改修するなどの工夫が必要である。
	（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
下水道局が占有している実のなる木公園について、復旧時に花壇の設置を検討する。	花苗・バラ・地被類の植付箇所を、既存施設の改修を含めて再検討する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	花と緑のまちづくりのモデルとして、今後も継続する必要がある。

議（要旨）	
会	
質	
問	
状	

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-30	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	公園管理事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	松崎	内線	2757	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-01-01	公園管理費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	32年度	根拠法令等	都市公園法・荒川区立公園条例及び同施行規則		
終期設定	有	無	年度	荒川区立荒川自然公園条例及び同施行規則			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	区民等が利用する公園施設を安全・快適・清潔に維持する。						
対象者等	区民及び荒川区を訪ねる人						
内容	対象施設 ・区立公園(あらかわ遊園を除く32箇所) 業務内容 ・園内の清掃 ・樹木の剪定 ・遊具の安全点検及び修繕 ・電気施設の保持 ・その他施設の維持						
経過	平成15年度 モデル花壇維持費の事業廃止に伴い、本事業に花壇維持管理委託を組替した。 グリーンサポーター制度(児童遊園、グリーンスポットを含む)の試行を実施。 平成16年度 夜間巡回業務を実施。(16年度のみ公園緑地課で実施、危機管理対策室に執行委任) 平成17年度 地域防犯のための照明器具の清掃及び電球の交換を実施。 平成19年度 公園等遊具緊急安全点検を実施。 平成20年度 巡回業務委託を実施。 平成22年度 清掃等の業務委託を一部組替。 ・天王公園...公園清掃、トイレ清掃及び水施設管理を統合して委託。 ・瑞光橋公園...公園清掃とトイレ清掃を統合して委託。 平成24年度 直営作業の一部を業務委託により実施。						
必要性	区民が安心して利用できる衛生的で安全な公園を提供するため、適正に管理することが必要である。						
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 荒川自然公園運営業務委託 (株)富士植木 金額 ¥55,200,000-(H25) 公園等維持管理業務委託 岩田造園土木(株)/旬花代緑化 金額 ¥19,570,110-(H25)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	245,422	256,103	239,985	231,283	238,836	233,489	241,855	
決算額（26年度は見込み）	232,561	231,321	207,681	200,346	207,993	209,822	241,855	
人件費等	51,210	36,944	41,876	38,623	27,385	18,894		
減価償却費			23,531	24,414	18,072	10,985		
【事務分担当】（%）	1,021	835	810	785	560	325		
合計（ + + ）	283,771	268,265	273,088	263,383	253,450	239,701	241,855	
特定財源	国							
	都							
	その他	公園施設使用料(荒川自然公園)	15,362	10,145	31,993	20,416	7,840	7,840
一般財源	268,409	258,120	241,095	242,967	245,610	230,939	234,015	
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	公園(数)	33	33	33	33	33	33	33
	公園面積(m ²)	196532	196532	196532	196532	196532	196532	200827
	グリーンサポーター(施設数)	27	27	27	27	27	27	26

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	公園連絡員謝礼	760	委託料	清掃等委託	164,122	委託料	清掃等委託	181,130
光熱水費	電気・水道料金	31,819	光熱水費	電気・水道料金等	28,779	光熱水費	電気・水道料金等	34,230
一般需用費	消耗品・家屋修繕料	9,030	一般需用費	消耗品・家屋修繕	8,517	一般需用費	消耗品・家屋修繕	9,869
役務費	塵芥収集運搬等	4,850	役務費	塵芥収集運搬等	5,117	役務費	塵芥収集運搬等	5,722
委託費	清掃等委託	158,932	原材料費	公園維持管理用材料	1,618	原材料費	公園維持管理用材料	1,760
原材料費	公園維持管理用材料	1,844	報償費	公園連絡員謝礼	720	報償費	公園連絡員謝礼	720
負担金補助及び交付金等	ホタル観賞運営補助金等	759	負担金補助等	ホタル観賞運営補助	450	負担金補助等	ホタル観賞運営補助金	450

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	陳情件数	139	107	76	-	50	陳情件数を限りなくゼロに近づける。
	遊具の安全度(%)	100	100	99	-	100	(Dランク(至急対策が必要)以外の遊具数/全遊具数)×100

（問題点・課題分析）	公園等の維持管理作業を担う土木管理事務所（公園班）は、人員の減少により従来の作業体制を維持するのが困難な状況になっている。公園等の維持管理レベルを保つため、委託化をさらに拡大していく必要がある。 公園施設の更新が順次進められているが、まだ老朽化が進行している施設があり、機能回復や安全性の確保のための対策が十分にできないものもある。
	（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
引き続き、直営作業の委託化を進め、全面委託への移行を図っていく。	直営作業の委託化をさらに進め、全面委託への移行を図る。
引き続き、緊急性や重要性の高い施設を計画的に改築・更新していく。	施設物の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に改築・更新していく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	快適に利用できるよう、適正に公園を維持管理する必要がある。

議（要旨）	【H22一定】 公園の時間帯別ルールについて
-------	------------------------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-31	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	児童遊園管理事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	松崎	内線	2757	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-01	児童遊園管理費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	39年度	根拠法令等	荒川区立児童遊園条例		
終期設定	有	無	年度				
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	児童を含め地域住民が利用する児童遊園等の施設を安全・快適・清潔に維持する。						
対象者等	小学校区を単位とした地域住民						
内容	対象施設 ・区立児童遊園等（右表のとおり） 業務内容 ・園内の清掃 ・樹木の剪定 ・遊具の安全点検及び修繕 ・電気施設の保守 ・その他施設の維持						
経過	平成7年度 清掃業務を全箇所週6日から週3日に見直した。 平成15年度 区の木「サクラ」及び緑地の維持管理業務を、都電通り等緑地維持管理業務から本事業に組替え。 清掃業務を、週5日は1箇所（三ノ輪橋広場：都電通り等緑地維持管理業務から組替え）、週3日は18箇所、週2日は56箇所、週1日は5箇所に見直した。 平成17年度 地域防犯のための照明器具の清掃及び電球の交換を実施。（地域ごとに計画的に実施） 平成19年度 公園等遊具緊急安全点検を実施。 平成20年度 巡回業務委託を実施。 平成22年度 新設の熊野前南児童遊園の維持管理等について、地元町会及び商店街と「荒川区立熊野前南児童遊園における維持管理等に関する相互協力協定」を締結。 平成24年度 直営作業の一部を業務委託により実施。						
必要性	児童、区民等が安心して利用できる衛生的で安全な児童遊園等を提供するため、適正に管理することが必要である。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 公園・児童遊園等清掃委託 シルバー人材センター ¥11,807,367-(H25) 公園等維持管理業務委託 岩田造園土木(株)/旬花代緑化 ¥10,257,870-(H25)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	51,064	57,056	58,574	58,918	64,740	66,478	65,524	
決算額（26年度は見込み）	46,015	49,850	53,838	54,796	56,922	58,949	65,524	
人件費等	38,351	28,794	32,545	29,528	23,971	15,582		
減価償却費			15,978	16,328	15,328	8,382		
【事務分担当】（%）	556	560	550	525	475	248		
合計（+ +）	84,366	78,644	102,361	100,652	96,221	82,913	65,524	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	84,366	78,644	102,361	100,652	96,221	82,913	65,524	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
児童遊園数(園)	70	71	73	73	73	73	73	
児童遊園面積(m ²)	32739	33452	34930	34930	34930	34930	35417	
区の木サクラ(本)	274	274	266	265	265	264	263	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	公園連絡員謝礼	1,824	委託料	清掃その他委託	42,693	委託料	清掃その他委託	49,430
光熱水費	電気、水道料金	4,699	光熱水費	電気、水道料金	5,330	光熱水費	電気、水道料金	5,498
一般需要費	消耗品費等	3,165	一般需用費	消耗品・修繕	2,697	一般需用費	消耗品・修繕	3,534
役務費	塵芥収集運搬	3,969	役務費	塵芥収集運搬	4,064	役務費	塵芥収集運搬	3,912
委託料	清掃委託・その他委託	40,651	報償費	公園連絡員謝礼	1,848	報償費	公園連絡員謝礼	1,848
使用料及び賃借料	児童遊園用地賃借料	1,258	使用料等	児童遊園用地賃借料	1,258	原材料費	維持管理用原材料	1,302
原材料費他	維持管理用原材料費他	1,355	原材料費	維持管理用原材料	1,059			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	陳情件数	147	133	82	-	50	陳情件数を限りなくゼロに近づける。
	遊具の安全度(%)	100	99	100	-	100	(Dランク(至急対策が必要)以外の遊具数/全遊具数)×100

（問題点・課題分析）	<p>児童遊園等の維持管理作業を担う土木管理事務所(公園班)は、人員の減少により従来の作業体制を維持するのが困難な状況になっている。児童遊園等の維持管理レベルを保つため、委託化をさらに拡大していく必要がある。</p> <p>児童遊園等の施設の老朽化の進行に伴い、従来の維持的な修繕だけでは機能回復や安全性の確保のための対策が十分にできない状況にある。</p> <p>利用者や近隣住民が快適に過ごせるようにするために、地域住民の協力を得て連携して維持管理に取り組む児童遊園等をさらに増やしていく必要がある。</p>
	<p>（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）</p>
他区の実況	

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	引き続き、直営作業の委託化を進め、全面委託への移行を図っていく。	直営作業の委託化をさらに進め、全面委託への移行を図る。
	引き続き、緊急性や重要性の高い施設を計画的に改築・更新していく。	施設物の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に改築・更新していく。
	引き続き、地域住民(特に町会)との協議及び相互協力協定の締結を進める。	維持管理において、地域住民(特に町会)との協議及び相互協力協定の締結を進める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	快適に利用できるよう、適正に児童遊園等を維持管理する必要がある。

議（要旨）	況	問	状
-------	---	---	---

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-32	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	公衆トイレ管理事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	松崎	内線	2757	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-03-01	公衆トイレ管理費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成	元年度	根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
終期設定	有 無	年度	法令等	荒川区公衆トイレに関する条例			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画		
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	公園及び公衆トイレ利用者が快適に利用できるよう、公衆トイレを清潔に維持する。						
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人						
内容	公衆トイレ数 35箇所 業務内容 【清掃】 4回/日 1箇所（日暮里駅東口） 3回/日 4箇所（日暮里駅西口・南千住一丁目・西日暮里駅前・ドノウ広場） 2回/日 17箇所 1回/日 13箇所 【修繕】 適宜						
経過	昭和42年10月 公園課の新設により、区民課から事業を引き継ぐ。 平成20年度 街なかびかびかトイレ事業を開始 <清掃回数：2回 4回/日、1回 2回/日> <トイレトーパー、消臭剤、清掃用具設置> 平成22年3月 条例の名称を「荒川区公衆便所に関する条例」から「荒川区公衆トイレに関する条例」に変更 平成22年度 清掃内容を見直し <清掃回数：4回 4～2回/日、2回 2～1回/日> <消臭剤の補充：毎月 2か月に1回> 平成23年度 予算科目を公園総務費から公園維持費に変更						
必要性	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に、市町村は必要な場所に公衆トイレを設けて衛生的に維持管理することを義務づけている。（第5条第6項） 公衆トイレを清潔・快適に保っていくために清掃、修繕等の維持管理は必要である。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 公衆トイレ等清掃委託 H25年度 ㈱後藤ビルサービス 委託金額 ¥18,849,300- （公園トイレを除く）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	37,636	36,744	31,953	27,868	31,857	30,717	29,949	
決算額（26年度は見込み）	35,496	35,586	31,199	26,102	25,155	24,605	29,949	
人件費等	8,609	3,095	7,482	4,139	2,639	2,647		
減価償却費			3,283	2,364	2,550	2,332		
【事務分担量】（%）	123	66	73	76	79	69		
合計（+ +）	44,105	38,681	41,964	32,605	30,344	29,584	29,949	
特定財源								
国								
都								
その他	雑入（電力販売料）							
一般財源	44,105	38,681	41,964	32,579	30,322	29,563	29,927	
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	公衆トイレ数（箇所）	35	35	35	35	35	35	35

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
光熱水費	電気・水道料	4,809	委託料	清掃委託	18,849	委託料	清掃委託	22,696
一般需用費	水・電気施設修繕	719	光熱水費	電気・水道料	5,091	光熱水費	電気・水道料	5,643
委託料	清掃委託	19,627	一般需用費	施設修繕	664	一般需用費	施設修繕	1,610

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	陳情件数	15	9	3	-	0	陳情件数ゼロを目指す。

（問題点・課題分析）	いたずら等による汚損・破損が減らず、利用者の快適性が損なわれている。また、古いトイレにおいては、施設の経年劣化が著しい。
	（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	引続き、汚損、破損の著しい便器などの交換、破損したタイル、故障したフラッシュバルブ、センサーなどの修繕または交換を行う。	引続き、汚損、破損の著しい便器などの交換、破損したタイル、故障したフラッシュバルブ、センサーなどの修繕または交換を行う。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	区のイメージアップのためにも、トイレ利用者が快適に利用できるよう管理する必要がある。

議（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-33	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	公園改良事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	田中	内線	2754	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-01-01	公園改良費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）			建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	10年度	根拠	都市公園法・荒川区立公園条例及び同条例施行規則、荒川区立荒川自然公園条例及び施行規則		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	老朽化した公園については、設備等の改修、段差解消等のバリアフリー化その他新規設備の設置等を行ない、公園における安全性や快適性、利便性の向上を図る。						
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人						
内容	公園の改良及び改修工事を行う。 【改良工事】 1. 福祉の街づくり等に配慮した入口、車止め等の管理施設の設置 2. 緑陰等に配慮した植栽等の修景施設の設置 3. 利用年齢層に配慮した広場や遊戯施設の設置 4. その他水飲等の便益施設、ベンチ等の休養施設ほか、さまざまな施設の設置 【改修工事】 1. 老朽化した遊具や公園灯等の施設の改修 2. 犬猫のフン害対策のための砂場改修 3. 施設物塗装・樹木の植栽 4. その他改修工						
経過	【近年実施状況】 平成22年度 荒川自然公園照明灯改修工事(その1) 荒川自然公園昇降機詳細設計(下水道局に依頼) 平成23年度 荒川公園外3か所遊具取替工事 荒川自然公園照明灯改修工事(その2) 荒川自然公園昇降機整備工事【東京都下水道局へ工事委託】 平成24年度 日暮里公園外1か所遊具取替工事 荒川自然公園照明灯改修工事(その3) 荒川自然公園テニスコート新設工事(公園用地拡張)等 平成25年度 荒川公園ウォーキングロード整備工事 公園遊具取替工事 等 平成26年度(予定) 荒川自然公園受水槽改修工事、荒川八丁目公園防球ネット設置工事 等						
必要性	区民がいつでも安心して公園を利用できるように、公園の安全性・利便性・快適性を確保する必要がある。						
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) ・設計は直営または委託による。 ・施工は委託および請負工事による。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額		167,312	185,575	58,345	156,036	106,446	106,423
決算額（26年度は見込み）		165,152	65,534	50,444	154,212	99,990	99,454	67,315
人件費等		5,506	13,845	11,510	14,651	16,770	11,727	
減価償却費				3,835	5,380	6,551	4,766	
【事務分担量】（%）		65	170	132	173	203	141	
合計（ + + ）		170,658	79,379	65,789	174,243	123,311	115,947	67,315
特定財源の推移	国							
	都							
	その他							
	一般財源	170,658	79,379	65,789	174,243	123,311	115,947	67,315
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	工事監理委託	0	0	0	0	0	0	
	工事件数	9	10	14	11	12	14	
	調査委託件数	0	0	2	0	0	0	
	設計委託		3	1	1	0	0	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	公園等改修工事	99,990	工事請負費	公園改修工事	99,357	工事請負費	公園改修工事	67,274
			委託料	材料単価調査	98	旅費	工場検査旅費	41

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度見込み	目標値(27年度)	
標	入口段差等解消率（％）	88	88	89	90	94	段差解消済み公園数 / 公園数(33)
	水飲み（車椅子対応型）改修率（％）	79	79	80	80	85	車椅子対応型水飲み設置公園数 / 公園数

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した設備については、計画的な改修により安全性や利便性を確保していかなければならない。 ・改修にあたっては、バリアフリー新法に対応しなければならない。 ・複合遊具は、老朽化したものが多く、安全性の問題から撤去した場合には再設置を検討する必要がある。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
地域住民・使用者意見等の反映した、公園における安全性や快適性、利便性が向上する公園改修に取り組む。	長期的な維持管理が最小のコストで行えるように、改修内容を検討する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	公園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。

（議会議決要旨）	H21一定	尾竹橋公園に区営運動場設置について
	H21四定	西日暮里公園の改修にあたっての、バリアフリー化について
	H21四定	老朽化の進む日暮里南公園の改修予定について

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-34	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	公園新設拡充事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	田中	内線	2738・2754	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-01-02	公園新設・拡充費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）			建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	25年度	根拠	都市公園法		
終期設定	有	無	年度	法令等	荒川区区立公園条例及び同条施行規則		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	花と緑の基本計画に基づき、みどりの拠点となる公園や地域における身近なみどりの核となる公園を、地域のバランスに配慮して整備、拡充し、良好で快適な生活空間を創出する。						
対象者等	区民および荒川区を訪れる人						
内容	整備水準の低い地区で優先的に用地を取得し、区民1人当たりの公園面積の拡充を図っている。整備に当たっては、災害時における一時避難場所としての防災機能を持たせ、防災性の向上にも努めている。 社会資本整備総合交付金等を積極的に活用し、事業を計画的に推進している。						
経過	平成17年度 瑞光橋公園新設 1.5ha 汐入公園新設（都立公園） 12.6ha 平成18年度 町屋七丁目公園新設 0.1ha 平成19年度 （仮称）宮前公園用地取得 平成20年度 （仮称）宮前公園第二期整備用地測量委託 平成21年3月 「荒川区花と緑の基本計画」策定 平成21年度 町屋公園（尾竹橋公園拡張用地）測量委託 平成22年度 宮前公園第二期地歴調査委託 町屋公園・宮前公園補足測量委託 平成25年度 荒川二丁目公園拡張整備 平成26年度（予定）宮前公園基本設計委託（予定）藍染公園拡張用地暫定整備						
必要性	公園面積（公園＋児童遊園）は、都立公園も含めて42.3haと増加したが、「荒川区花と緑の基本計画」で定めた目標である55.2haを達成するため、地域のバランスも考慮しながら、引き続き、面積の拡充に取り組む必要がある。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額		15,019	6,438	10,850	-	100,116	71,173
決算額（26年度は見込み）		4,879	6,036	10,404	-	49,000	59,743	18,667
人件費等		4,235	4,479	1,308	847	2,478	4,574	
減価償却費				436	311	968	1,859	
【事務分担当】（%）		50	55	15	10	30	55	
合計（＋＋）		9,114	10,515	12,148	1,158	52,446	66,176	18,667
特定財源	国	密集住宅市街地整備促進事業費・地域の元氣臨時交付金						
	都	密集住宅市街地整備促進事業費						
	その他							
一般財源		9,114	10,515	12,148	1,158	14,921	20,886	17,313
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	整備面積	-	-	-	-	-	0.02	0.1

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
用地取得費	拡張用地取得	49,000	公有財産購入費	用地取得費	51,245	委託料	基本設計委託	13,456
			工事請負費	荒川二丁目公園拡張工事	6,429	工事請負費	拡張用地暫定整備工事	5,211
			委託料	用地測量委託	2,069			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度見込み	目標値(27年度)	
標	公園・児童遊園面積(ha)	42.3	42.7	42.7	42.8	42.8	目標値算定は、人口184,000人×3m ² =55.2ha都立公園含む総面積

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 公園の総面積は区全体として十分とは言えず、また地域的にも偏在している。 都市計画公園宮前公園及び町屋公園の整備に向け、計画的に用地取得を進める必要がある。 藍染公園の拡張整備は財源確保のため、都市計画決定及び事業認可取得が必要となる。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
関係部署と協議を進め、国庫補助金や都市計画交付等を活用した、適地の取得に努める。	隅田川沿いの公園整備に伴うスーパー堤防の施工協議を進める。
公園整備に向け、計画地内の用地取得に努める。	社会資本整備総合交付金や都市計画交付金等を活用する際には、各交付要綱等を遵守する。
公園整備に向け、整備内容について地元・関係機関と協議を進める。	用地取得に向け、各関係部署と緊密に連携する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	緑の拠点となる公園の整備は、緑の量的な充実に直接結びつくものである。

議（要質問状）	H22二定	宮前公園の整備促進と教育施設に配慮した整備について
	H22二定	尾竹橋公園の「区民と協働の公園づくり」について
	H22四定	隅田川文化の再生と観光振興策について
	H23四定	住民の意見を取り入れた宮前公園の整備について
	H23四定	白鬚橋公園の早期整備について

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-35	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	児童遊園改良事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	田中	内線	2738・2754	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-01	児童遊園改良費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	25年度	根拠法令等	児童福祉法、荒川区立児童遊園条例		
終期設定	有	無	年度	都市公園法			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とるおい豊かな生活環境づくり				
目的	老朽化した児童遊園・広場等の設備等の改修、段差解消等のバリアフリー化その他新規設備の設置等を行ない、安全性や快適性、利便性の向上を図る。						
対象者等	主に小学校区を単位とした地域住民						
内容	【改良工事】 1. 入口、車止め等の管理施設の設置 2. 植栽等の修景施設の設置 3. 広場や遊戯施設の設置 【改修工事】 1. 遊具、公園灯等の改修 2. 犬猫のフン害対策のための砂場改修 3. 施設物塗装・樹木の植栽工事						
経過	【近年実施状況】 平成20年度 児童遊園施設物塗装工事 他 平成21年度 西日暮里一丁目広場トイレ新築工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成22年度 町屋二丁目児童遊園トイレ新築工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成23年度 町屋七丁目児童遊園遊具取替工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成24年度 町屋六丁目東児童遊園入口改修工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成25年度 西尾久八丁目児童遊園遊具取替その他工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成26年度（予定）児童遊園施設物塗装工事 他						
必要性	区民がいつでも安心して利用できるように、安全性、利便性、快適性を確保する必要がある。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額		16,280	28,279	24,261	17,419	13,358	23,337
決算額（26年度は見込み）		14,689	23,804	20,344	16,767	13,037	20,901	17,220
人件費等		8,724	4,886	8,894	7,876	5,204	8,400	
減価償却費				2,693	2,892	2,033	3,414	
【事務分担量】（%）		103	60	102	93	63	101	
合計（+ +）		23,413	28,690	31,931	27,535	20,274	32,715	17,220
特定財源の推移	国					0		
	都					0		
	その他					0		
	一般財源		23,413	28,690	31,931	27,535	20,274	32,715
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	工事件数	7	8	3	1	6	4	4

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	町屋六東入口改修	2,309	工事請負費	遊具取替工事	12,510	工事請負費	フェンス設置工事	6,534
	施設物塗装工事他	10,728	工事請負費	施設物塗装工事他	8,391	工事請負費	施設物塗装工事他	10,686

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度見込み	目標値(27年度)	
標	入口段差等解消率（%）	74	75	75	76	78	段差解消済み児童遊園数 / 児童遊園数(73)
	水飲み（車椅子対応型）改修率（%）	67	67	67	68	70	車椅子対応型水飲み設置児童遊園数 / 児童遊園数(73)

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーに対応していない児童遊園がある。 ・老朽化した設備については、計画的な改修により安全性や利便性を確保していかなければならない。 ・細街路拡幅整備を実施していない児童遊園がある。（建築基準法第42条2項） ・毎年実施する遊具緊急安全点検の結果を踏まえ、遊具の残置、撤去、再設置については十分検討する必要がある。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
地域住民・使用者意見等の反映した、公園における安全性や快適性、利便性が向上する改修に取り組む。	長寿命化に対応した計画的な施設改修計画を実施し、維持管理コストの低減と公園の質の向上を検討する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	児童遊園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。

議（要旨）	況（質問状）
-------	--------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-36	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	児童遊園新設拡充事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	田中	内線	2738・2754	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-02	児童遊園新設・拡充費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	14年度	根拠	児童福祉法、荒川区立児童遊園条例		
終期設定	有	無	年度	法令等	都市公園法		
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とるおい豊かな生活環境づくり				
目的	花と緑の基本計画に基づき、街区公園を補完して豊かな生活環境をつくる児童遊園や広場等を整備する。						
対象者等	主に小学校区を単位とした地域住民						
内容	整備水準の低い地区で優先的に用地を取得し、地区における児童遊園や広場の面積拡充を図る。住宅密集地におけるオープンスペースを確保することで、防災性の向上を図る。社会資本整備総合交付金や都補助制度等を活用し、積極的に事業を推進している。						
経過	平成14年度 若宮八幡児童遊園新設 584㎡ 汐入せせらぎ広場新設 1589㎡（道路課施工） 平成16年度 南千住六丁目児童遊園新設 471㎡（防災広場から所管換え） 平成19年度 荒川一丁目広場新設 738㎡ 平成20年度 町屋四丁目児童遊園新設 713㎡ 町屋二丁目児童遊園新設（くすのき山公園）998㎡ 平成21年度 荒川四丁目児童遊園新設 479㎡ 平成22年度 熊野前南児童遊園新設（くまのまえはっぴい公園）945㎡ 平成26年度 （予定）（仮称）荒川二丁目広場新設工事設計委託						
必要性	公園面積（公園＋児童遊園）は42.3haと増加したが、まだ少ない状況にあり、「荒川区花と緑の基本計画」で定めた目標である55.2haを確保するために、児童遊園の整備・拡充に積極的に取り組まなければならない。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		623,048	69,820	47,797	-	-	-	6,046
決算額（26年度は見込み）		608,177	381,803	101,950	-	-	-	6,046
人件費等		5,506	10,587	7,412	847	-	-	-
減価償却費				2,469	311	-	-	-
【事務分担量】（%）		65	130	85	10	0	0	-
合計（＋＋）		613,683	392,390	111,831	1,158	0	0	6,046
特定財源	国	292,652	166,080	39,594	0	0	0	2,400
	都	146,326	83,040	19,797	0	0	0	1,200
	その他							
	一般財源	174,705	143,270	52,440	1,158	0	0	2,446
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	新設工事	1	2	1	-	-	-	-

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
			-		-	委託料	広場新設工事設計委託	6,046

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	公園・児童遊園面積（ha）	42.3	42.7	42.7	42.8	42.8	目標値算定は、人口184,000人×3m ² =55.2ha(都立公園含む総面積)
	小学校区域に3園以上（％）	54.2	54.2	54.2	54.2	58.3	小学校通学区域は24

問題点・課題 （指標分析）	・公園・児童遊園の総面積は区全体として十分とは言えず、また地域的にも偏在している。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
国庫補助金や都市計画交付等を活用した、適地の取得に努める。	用地取得に向け、各関係部署と緊密に連携を図り適地の取得に努める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	児童遊園の整備は、子育て支援策や街の防災性向上にも効果的な事業である。

議 会 要 旨 状	H21二定 密集地域における公園用地確保について
-----------------------	--------------------------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-37	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	公衆トイレ新設改良事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	田中	内線	2738・2754	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-03-01	公衆トイレ新設改良費					
事務事業の種類	新規事業	（26年度	25年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	63	年度	根拠	都市公園法、建築基準法、バリアフリー新法	
終期設定	有	無	年度	法令等	荒川区公衆トイレ条例		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	公衆トイレを適正に配置し、区民が安心して利用できる清潔で快適なトイレに整備、改善する。						
対象者等	区民および荒川区を訪れる人						
内容	平成8年2月に荒川区公衆トイレ設置基準を制定し、設置間隔500mを標準として設置している。また、鉄道駅前および駅周辺については間隔にかかわらず設置している。 <ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ新設・・・新たに設置 ・公衆トイレ改良・・・老朽化したトイレの撤去・新設 ・公衆トイレ改修・・・部分的な改修、塗装等 公園、児童遊園のトイレも公衆トイレとしての機能を担っている。						
経過	昭和63年度から平成5年度まで、アメニティトイレの整備（実施計画事業）機能の向上やデザイン等に配慮した質の高い整備を行ない、清潔でかつ快適な施設とした。毎年1箇所を標準として7箇所を整備した。 平成8年2月、荒川区公衆トイレ設置基準を制定し、公園・児童遊園の全面改修や市街地再開発に伴ってトイレの改良を行っている。 平成19年度 日暮里駅東口公衆トイレ新設（ひぐらしの里西地区第一種再開発事業：財産引継） 平成19年度 峡田児童遊園公衆トイレ改良 平成22年度 原稲荷公衆トイレ改良 平成23年度 峡田公衆トイレ改良 平成25年度 地蔵堀公衆トイレ改良						
必要性	廃棄物の処理及清掃に関する法律は、必要な場所に公衆トイレを設け、衛生的に維持管理することを市町村に義務づけている。 公衆トイレは、生活環境の保全及び公衆衛生の向上の観点から不可欠な施設である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） <ul style="list-style-type: none"> ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。 						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額		1,840	4,520	10,133	9,559	471	13,203
決算額（26年度は見込み）		1,010	389	9,885	9,119	327	12,781	471
人件費等		678	3,665	1,134	3,218	1,900	3,410	
減価償却費				378	1,182	743	1,386	
【事務分担量】（%）		8	45	13	38	23	41	
合計（+ +）		1,688	4,054	11,397	13,519	2,970	17,577	471
特定財源	国							
	都							
その他								
一般財源		1,688	4,054	11,397	13,519	2,970	17,577	471
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	公衆トイレ新設	0	0	0	0	0	0	0
	公衆トイレ改良	0	0	1	1	0	1	0
	公衆トイレ改修	1	1	1	1	1	1	1

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	建物塗装	327	工事請負費	地蔵掘公衆トイレ整備工事	12,474	工事請負費	建物塗装	471
	-	-	工事請負費	建物塗装	307			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度見込み	目標値(27年度)	
標	公衆トイレ設置累計（箇所）	35	35	35	35	35	
	公衆トイレの改良率（％）	60	60	63	63	66	改良済みの数/公衆トイレの数

（問題点・課題分析）	<p>公衆トイレ35箇所のうち、設置後25年以上経っているものが3割近くを占めており、施設の老朽化が進んでいる。</p> <p>バリアフリー新法及び建築物バリアフリー条例の施行により、建設・改築するトイレは、バリアフリー化することが求められているため、整備コストがかかる。</p> <p>老朽化への対応だけでなく、利用者の多い箇所では、誰でもトイレへの利用集中を緩和し、トイレ空間の充実をはかる必要がある。</p>
	<p>（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）</p>
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
<p>公衆トイレについては、公園・児童遊園トイレも含めて、バリアフリー新法等に基づき高齢者、障害者等、誰もが安全、安心、快適に利用できるよう改修に取り組む。</p>	<p>定期的な検査等で、現状把握を行い、安全、安心、快適なトイレが利用できるように、改修、計画策定に取り組む。</p>
<p>長期的な維持管理が最小のコストで行えるように、改修内容を検討する。</p>	<p>長寿命化に対応したライフサイクルコスト低減の検討を行う。</p>

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	経年とともに劣化していく施設であり、継続して推進していく。また、設置基準を満たしていない地域への対応を考える必要がある。

議（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-38	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	グリーンスポット整備事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	担当者名	田中
				内線	2738・2754		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-04-01	グリーンスポット整備事業費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成	元年度	根拠法令等	都市公園法			
終期設定	有 無	年度					
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	グリーンスポットは、公園や児童遊園を補完するとともに、身近な居住環境の向上を図る機能を持つものである。						
対象者等	主に地域住民						
内容	公園、児童遊園より規模の小さい敷地については、グリーンスポットとして整備し、街に花と緑があふれ、人々にゆとりを与える空間とする。設置場所については、密集市街地整備促進事業地区に重点を置いている。						
経過	平成元年度より整備を進めている。現在は、財源の確保が図れる密集市街地整備促進事業と連携して推進している。 平成12年度まで 5か所新設 平成13年度 西尾久六丁目グリーンスポット新設 平成16年度 東尾久八丁目グリーンスポット新設（開発による提供） 平成17年度 荒川六丁目西グリーンスポット、町屋四丁目グリーンスポット新設 平成18年度 荒川六丁目グリーンスポット新設 平成20年度 荒川五丁目グリーンスポット新設 平成24年度 町屋四丁目北グリーンスポット新設 平成25年度 荒川五丁目西グリーンスポット新設 平成26年度（予定）（仮称）荒川二丁目グリーンスポット、荒川五丁目北グリーンスポット新設						
必要性	グリーンスポットは、小規模な用地の活用によって整備できる、必要性の高い施設である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額		65,702	-	75,389	115,222	103,405	185,726	21,924
決算額（26年度は見込み）		65,660	-	75,389	115,221	8,568	175,541	21,924	
人件費等		3,812	0	0	0	6,196	4,574		
減価償却費				0	0	2,420	1,859		
【事務分担量】（%）		45	0	0	0	75	55		
合計（+ +）		69,472	0	75,389	115,221	17,184	181,974	21,924	
特定財源	国	密集住宅市街地整備促進事業費	28,900	0	26,800	55,750	2,150	94,780	3,224
	都	密集住宅市街地整備促進事業費	14,450	0	13,400	27,875	0	42,070	1,612
	その他	公共施設等整備基金繰入金（財政課）	16,000	0	0	0	0		15,000
	一般財源		10,122	0	35,189	31,596	15,034	45,124	2,088
実績の推移	事項名		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	新設箇所数		1	0	0	0	1	1	2

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	グリーンスポット整備工事	8,568	財産購入費	用地取得費	163,160	工事請負費	グリーンスポット整備工事	21,924
用地取得費	用地取得	0	工事請負費	グリーンスポット整備工事	12,381			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	設置累計（箇所）	11	12	13	15	16	一年に1箇所新設

（問題点・課題分析）	関連部署との連携を強化して事業に適する用地の取得を図る必要がある。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	密集市街地において、重点的に整備を進める。また関係部署と協議を進め、国庫補助金や都市計画交付等を活用した、適地の取得に努める。	関係部署と連携し、国庫補助金等を活用した用地取得を図り、整備を進める。特に密集市街地整備促進事業の対象地区において重点的に事業を進める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	グリーンスポットは公園や児童遊園を補完するとともに、街の防災性の向上にも効果がある。

議（要旨）	況（要旨）
-------	-------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-39	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	地域に根ざした公園づくり事業		部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	
			担当者名	田中	内線	2738・2754	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	-	-					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	6年度	根拠	都市公園法、荒川区立児童遊園条例		
終期設定	有	無	年度	法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則		
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	08-01	緑とるおい豊かな生活環境づくり				
目的	地域に根ざした公園づくり事業は、住民参加方式により、区民により親しまれ、利用しやすい魅力的な公園づくりを進めるものである。						
対象者等	主に地域住民						
内容	公園および児童遊園を対象として実施している。 【事業の流れ】 検討会内容 1. 地元町会等へ事業説明及び検討会開催の協力要請 2. 近隣住民アンケート調査等 3. 公園検討会の開催（意見等の集約、整備案の検討） 改良工事内容 1. 検討会整備案に基づき設計 2. 工事を請負工事で発注						
経過	【公園づくり事業の経過】 昭和60～63年度：特色ある公園づくり事業（部分改修、地域でネットワーク化 計 13箇所整備） 平成元～5年度：特色ある公園づくり事業（全面改修、テーマ性を付加 計 15箇所整備） 平成6年度～：地域に根ざした公園づくり事業（全面改修、住民参加方式の計画づくり 計 16箇所整備） 【近年実施状況】 平成20年度 東日暮里六丁目児童遊園改良工事 平成22年度 三瑞児童遊園再整備工事 平成23年度 三河島第二児童遊園再整備工事【密集事業】 平成25年度 地蔵堀児童遊園拡張整備工事						
必要性	公園づくりにあたっては、区民に親しまれ、利用しやすい公園とすることが大切であるため、住民参加で整備内容検討する本事業の必要性は高い。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		10,811	40,908	11,011	11,352	-	31,371	-
決算額（26年度は見込み）		9,975	0	8,806	11,284	-	31,371	-
人件費等		4,235	814	2,616	7,199	826	4,574	
減価償却費				872	2,644	323	1,859	
【事務分担量】（%）		50	10	30	85	10	55	
合計（+ +）		14,210	814	12,294	21,127	1,149	37,804	0
特定財源	国				612	0	0	
	都				306	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	14,210	814	12,294	20,209	1,149	37,804	0
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	整備工事件数	1	0	1	1	-	1	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	-	-	工事請負費	地蔵堀児童遊園拡張整備工事	31,371	-		-

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	改修累計（箇所）	33	33	34	34	35	昭和60年度以降の実施箇所数

（問題点・課題 分析）	本事業では、毎年1箇所の公園・児童遊園を全面改修しているが、全体的に公園・児童遊園の老朽化が進んでいる。公園・児童遊園の総数は106箇所、部分改修はしているものの、整備後25年以上経過しているものが全公園数の約三割占めている。
	（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
地域住民・使用者意見等の反映した、計画的な全面改修が実施でしていく。	地域住民等共に既存ストックを再評価し、積極的に活用してすることで、地域で支える公園再整備を図っていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	改修にあたって地域住民の意見を取り入れることでより地域に根ざした魅力ある公園づくりを行える。

議 会 要 旨 状	
-----------------------	--